

# 令和8年度相談支援従事者現任研修「研修課題」等について

## I 研修課題について

### 1 研修課題事例について

- ・自身が実践している事例を1事例選定いただいたうえで、その事例に基づき研修課題A-1事例報告書等を作成し提出していただきます。
- ・下記の“提出事例の選定について”に基づき、作成してください。
- ・提出された課題を講師が確認し、今回の研修の意図にそぐわない事例であると判断した場合、別の事例を選定して再提出いただく場合があります。

### ○提出事例の選定について

以下の基本要領に伴い、実践事例を選定してください。

- a) 受講者自身が現在担当中である障害者（児）の実践例であること
- b) 在宅生活もしくは地域移行に関する実践例であること
- c) ケアマネジメント手法を用いた支援の実践例であること
- d) インフォーマル資源を既に活用している、または今後活用したいと考えている実践例

### ※事例選定時の注意

研修目的（意思決定支援・多職種連携・地域資源開発）に沿って、その視点で受講者間の検討をすることで、気づきを得るための事例であることが重要です。

そのため対象者への「アセスメント」をしっかりと行うことができ、「エコマップ」に資源をたくさん書けるよう努力ができるケースとしてください。

例えば、本研修の目的のひとつに意思決定支援についての再確認があります。

- ・本人の意思の確認ができる
- ・本人の意思の確認が難しい場合、様々な手法を使用して確認の努力をした

のいずれかをクリアできていれば演習が進みます。

また児童ケースを対象とした事例は議論展開が難しく研修意図に沿わない場合が多いようです。そのため児童ケース事例は「対象児童は学齢児以上」とします。その場合でも「親の意向をどうするか」云々ではなく、「お子さん本人の意思決定をどう支援するか」がテーマになり得るものにしてください。

未就学児童のケースしかお持ちでない場合や、学齢児以上のケースがすべて事例対象として不適切な場合は、作成前に事務局へご相談ください。

事例に基づく演習は、「困難ケースの解決」を目的としておりません。

事例選定の際には受講者のスキルをさらに高めるために困難事例検討ではなく、「利用者と関係性が取れており相手のことをよく知った事例」「うまくいっているがまだ何ら

かの可能性があると思えるがアイデアが出ない事例」等プラスの面を持つ事例を選定するようにしてください。

また、以下に挙げる事例は選定しないでください。

- ①すでに終結している事例
  - ②本人と関わりを持つことが困難であり、本人の意思が確認しづらい事例
  - ③自身が担当していない、他人から借りた事例、架空の事例
  - ④入所又は入院中で退所や退院の見通しが立たない事例
  - ⑤危機介入・虐待（疑い含む）対応が必要な事例
- ※今回は研修の獲得目標・研修意図から避けていただくものです。

※実際の事例ですから、ご本人と所属長の了解を得て作成してください。

また演習における事例に基づくGSVは、初任者研修ではなく現任研修であるからこそ、次の点に留意しております。事例選定時にもその点にご注意ください。

- 困難事例の解決策をみんなで検討する場ではない
- 目的に沿った視点での議論ができないのでは演習にならない
- 本人ではなく家族の対応に焦点を当てた事例は議論が広がらない
- アセスメントがしっかりとれていないと、演習時の質問に答えられず、議論ができない
- 本人や家族に障害受容ができておらず、受容への取り組みから始めるというのでは、意見がでない
- 入所中入院中で、インフォーマル含めて地域資源を活用する機会や可能性が全くないのでは、地域資源開発の話が進まない

選定や作成に当たって、不明な点や質問がある場合は必ずお問い合わせください。

## 2 研修課題提出書類の概要について

- ・研修課題 A-1 事例報告書を作成後、それに基づいて、引き続き以下の2～4の課題を作成してください。

**研修課題A-2 エコマップ**

**研修課題A-3 ストレングス・アセスメント票**

**研修課題A-4 地域変革のためのヒアリングシート**

※作成は手書きでもデータ入力いずれでも構いません。

様式のデータは川部みどり園ホームページからダウンロードして使用してください。

※研修課題 A-2、4 については記載例もアップロードしておりますので、下記に示したテキストの記載例とともに参考にしてください。

### ホームページ掲載場所

香川県トップページ → 組織（部署）から探す → 健康福祉部 川部みどり園  
→ 福祉関係研修等事業 → 令和8年度香川県相談支援従事者現任研修情報

もしくは

令和8年度香川県相談支援従事者現任研修情報 | 香川県 (kagawa.lg.jp)

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/midorien/jigyo/r8gennin.html>



### 3 作成に当たっての留意事項

- ・様式最上部事例区分には精神・知的・身体・児童のいずれかに○をつける。
- ・様式上部に名前を記載する欄が二つあります。

作成者は左側の「事例提供者氏名」欄にご自身のお名前をお書きください。なお氏名の前の「G」はグループ番号ですが、作成時にはまだ決定していませんので空欄で構いません。

右側の「受講者氏名」欄は、皆さんの事例を演習時に配布した際に受け取った方が名前を書く欄です。

提出時は G 分けが未定なので空欄のまま	事例区分に○をつける。 複数も可。	演習メンバー名 は空欄のまま
受講者氏名を記載		
【厚生労働省平成30年度障害者総合福祉推進事業「相談支援従事者育成及び普及事業」モデル研修資料】_G0128		
研修課題A-1事例報告書 事例区分(精神・知的・身体・児童)		
【 G 事例作成受講者名: 沼田 章	【演習メンバー名: _____】	
イニシャル: バイク好きなAさん 性別: 男	年齢: 36	障害名(程度)・区分: 知的障害(療手①) 障害程度区分2
福祉サービスの利用状況: 就労継続支援B型事業所		
検討したいこと((意思決定支援について困っている事、多職種連携について困っている事)) 事業所サービス終了時間の様子を見ていると、迎えが来たGH利用者の後追いをすることが多く、GHでの生活をしたいのかなと思うが、本人に質問しても「わからん」と答える。母や通所事業職員は本人に「家が良いよね」というと「そうそう」と肯定するが、笑顔で答えているわけでもなく、果たしてそれが本人の意思なのかどうかかわからない。言葉を変えて質問してみても明確な返答はない。本人の意思を確認するため、本人より先に、母や事業所職員が先に答えてしまい、本人が「そうそう」としか言っているようにも感じも受ける。 本人に選択肢を与えるためGH見学をチャレンジしたいが、どのような方法をとれば良いか助言が欲しい。		
【障害名】を記載し、その後ろに【程度(手帳程度)】を記載。さらに【障害程度区分】を記載。		

- （様式内容・書式番号等違いがありますが）研修課題 A-1～4の記載例が講義 1 テキスト P11～22に掲載されています。参考にして作成してください。
- 研修課題もカリキュラムの一環であり、修了要件の1つです。
- 次の場合は、原則、修了証書を交付できませんので、注意してください。
  - ① 指定の研修課題を期限までに提出しない場合
  - ② 提出した研修課題に不足があった場合
  - ③ 空白が多すぎる場合
- 事例の選定については、本人及び所属長の了解を得てください。
- 個人を特定できる可能性のある情報をすべて伏せてください。  
例)「Aさん」「〇〇病院」  
生年月日は生年のみで、月日は記載しない。
- 仮の電話番号は記載しないでください。誤って記載しているかどうかの確認をしなくてはなりませんので、一切お止めください。

#### 4 提出方法

- 6月4日（木）17時必着で、郵送（当日消印有効）もしくはメールに添付して、研修課題A-1～4原本を各1部、川部みどり園へ提出。
- 事務局に提出いただいた課題の返却はしません。
- 演習でご自身の課題を使用しますので必ず複写をしてご自身で保管し演習時にご持参ください。

#### ○ 提出先事務局

郵送

〒761-8046 高松市川部町 418 香川県立川部みどり園 相談支援現任研修担当  
電子メール

midorien@pref.kagawa.lg.jp

※表題に「相談支援現任研研修課題（ご自身の氏名）」と記載のこと

## II 講義 1 について

- 障害者相談支援従事者現任者研修テキスト

注文用紙をホームページに掲載いたしますので、ご自身で申込みご購入ください。

注文頂いてから届くまで2週間程度かかる可能性もあり早急に申込みください。

7年2月に改訂されています。注文票以外での購入の際にはご注意ください。

- 遅くとも5月7日までに「eラーニングサイトのURL、ID、パスワード」を記載したメールを送付しますので、5月11日午前9時～5月25日午後5時の間で各自アクセスして全ての講義を受講してください。

メールを受信できるように受信設定の確認と受信後の保管をお願いします。

- 受講後、川部みどり園HPに掲載されている講義1振り返り評価シート（以下「講義1レポート」という。）の様式をダウンロードし、様式に手書きで記入のうえ6月4日（木）（当日消印有効）までに郵送で、川部みどり園へ郵送してください。（やむを得ない事情で手書きが難しい方は担当まで必ずご連絡ください。）
- 視聴状況は事務局が随時モニターを行います。視聴時間が短い場合や連続視聴時間が長すぎる場合には、視聴していないと判断することがあります。
- 講義1レポートに空白欄や1～2行等のあまりにも短い記述があったり、記載された内容が不適切な場合、視聴状況をモニターした事務局が受講に疑義があると判断した場合等、事務局が「講義1の受講ができていない」と判断した場合には、研修受講を取り消させていただくことがあります。

### 講義1レポート作成の留意点

①受講する前に「事前評価」を行う。（数字を記載する。）

②受講時に講師名を確認し、記載する。

③受講後に「視聴終了日」を記載する。

④受講後に「事後評価」を行う。（数字を記載する。）

⑤受講後に「気づきや理解した点等」を手書きで記載する。

この欄は「獲得目標の達成状況」を記載するのではなく、受講して自分が気づいたことや理解したことを記載します。空白や記載が極端に短い場合、内容が不適切と事務局が判断した場合は受講できていないとし、受講証明書・修了証

NSA-イーラーニング受講書用 初任者研修

e-Learning  
初任者研修 振り返り・評価シート（科目別）  
講義動画視聴終了日 ③ 月 日 氏名： ⑥ 印

私は本講義動画を視聴いたしました。

科目名	【講義1-1】(テキストページ 20~32頁) 相談支援（障害児者支援）の目的	講師名	②
-----	--	-----	---

本シートは、初任者研修で習得すべきこと等について、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。  
【事前評価】① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。  
【事後評価】① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。  
② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等
	受講前	受講後	
① 相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。	①	④	⑤
② 相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。			
③ 相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。			
④ 相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。			

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1  
←理解度が高い 理解度が低い →

⑥すべて記載したら氏名を記載し押印する。

# 受講できていないと事務局が判断した例

NSK イーラーニング講座用 初任者研修

e-Learning

初任者研修 振り返り研修シート (科目別)

講義動画視聴終了日 **①** 7年 7月 2日

私は本講義動画を視聴しました。氏名: 沼田章 用

科目名	【講義1-2】(テキストページ 33~57頁) 相談支援の基本的視点 (障害児者支援の基本的視点)	講師名	<b>②</b>
-----	--	-----	----------

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の学習理解度を把握するために捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価] ① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等
	受講前	受講後	
① 障害について正確に説明できる。 (医学モデルと社会モデル)	1	<b>③</b>	<b>④</b> 見ました
② スティグマについて説明できる。	1	3	<b>④</b> 説明できる
③ 個性の重視、リカバリーについて説明できる。	<b>③</b>	3	<b>⑤</b> 個性の重視、リカバリーについて説明できる
④ 生活者視点、QOLの重視について説明できる。	3	4	<b>⑥</b> 生活者視点、QOLの重視について説明できる。LIFEの視点から捉えることが大切である。
⑤ 本人主体、本人中心の支援について説明できる。	3	5	<b>④</b> 本人主体、本人中心の支援について説明できる。
⑥ 自己決定(意思決定)の支援について説明できる。	5	5	<b>⑥</b> 自己決定(意思決定)の支援について説明できる。
⑦ エンパワメント支援、ストレングスを活かした支援について説明できる。	<b>③</b>	7	<b>⑦</b> エンパワメント支援、ストレングスを活かした支援について説明できる。
⑧ 権利擁護について説明できる。	7	8	<b>⑧</b> 権利擁護について説明できる。

10 ←理解度が高い 理解度が低い →

## ① 日付が不適當

この日付は講義期間外です。視聴終了日は、記載日ではなくその動画の視聴を終えた日を記載してください。

## ② 講師名が空欄

視聴の際にメモを取らないと講師名は分かりません。講師名を書くことは受講したという強力な証です。

## ③ 自己評価が空欄

受講前と受講後に2回記入することになっています。

## ④ 内容が短い

記述が1行の短いものであり、内容も「気づきや理解した点」ではない。

## ⑤ 内容が不適切

2~3行の記載がありますが、内容は言葉の説明のみで受講したと判断できません。

## ⑥ 内容が不適切

小さな字でたくさん書いていただいているのですが、内容は講義とは無関係なものであり、受講したと判断できません。

## ⑦ 空白欄がある

空白欄があります。せっかく長時間視聴したのに、記載をたった一か所うっかり忘れてしまった場合も受講したと判断できません。

○ 提出先事務局 (郵送に限る: 郵送以外の提出は受け付けません)

〒761-8046 高松市川部町418 香川県立川部みどり園 相談支援現任研修担当

問い合わせ先事務局 ⇒ 県立川部みどり園 研修担当 TEL: 087-885-8600